

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	たんぼぼ学園		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 6日		～ 令和8年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 6日		～ 令和8年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 3日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族への般化を目指して家族支援を行っている。	定期的に保護者が療育に参加する機会を設け、親子で成功体験が積めるよう、お子さんとの関わり方について職員が具体的にアドバイスをしている。また、必要に応じて家庭訪問やオンラインでの支援を行っている。	今後も療育参加日の内容を検討し、より良い親子関係が築けるよう支援していく。また、職員と保護者が相談しやすい関係をつくっていく。
2	地域の療育の質の向上に向け、研修会等の機会を設けている	市内の保育園所、こども園、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所の職員さんを対象に研修や情報交換会を行った。	地域の支援者のニーズをお聞きしながら、研修や交流会の機会をつくっていきます。
3	設備や環境が整っている	お子さんの特性に合わせ、わかりやすい環境設定や過ごしやすい環境整備を行っている。園庭は十分な広さがあり、インクルーシブ遊具を設置している。また、各クラスに感覚器具を取り付けて活動することができる。	お子さんが安全に楽しく過ごせるよう、環境設定を工夫していく。お子さんに合った教材やおもちゃが提供できるよう検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい同士の交流の機会が設けられていない	きょうだい児の年齢の幅が広く、どのような交流の機会をもつのか設定が難しい。	行事等できょうだいさんが参加できる機会をつくっていきます。
2			
3			